

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便り

お知らせ

<セキュリティ事業部>

昨年度、コロナ禍により集合での消防訓練を行うことのできなかった一部の現場では、動画視聴による“教養型消防訓練”という形での消防訓練を実施しました。

以下に今回の教養型消防訓練で使用した、大阪市消防局がYouTubeで公開している資料を紹介いたしますので、万が一のときに慌てずに、通報、初期消火、避難誘導が行えるよう、皆さんも視聴してみてください。（動画の最初に広告が入ります）

[通報訓練]	https://www.youtube.com/watch?v=0wH70smO5Jw
[消火器操作]	https://www.youtube.com/watch?v=nISlnCixJw4
[消火栓操作]	https://www.youtube.com/watch?v=p0vBp2TWiRI
[避難訓練]	https://www.youtube.com/watch?v=vgc1gqJVERw



通報訓練



消火器操作



消火栓操作



避難訓練

<クレンリネス事業部>

新年度を迎え、クレンリネス事業部では、4月から東部運転免許センターの消毒業務が開始されました。5月からは北部医療センター安佐市民病院の業務も始まります。両業務で新しくオオケンに入社される方は、40名を超える見込みで、クレンリネス事業部全体では300名近くの大所帯となります。一人ひとりの丁寧で誠実な業務が合わさって大きな力になっていきますので、新年度を迎えて気持ちも新たに力を合わせて頑張りましょう。

<営業推進部>

当部の労働災害ゼロ期間は平成31年2月5日の切創事故から令和4年4月6日現在で1156日（約3年余）となっています。この事は各事業所関係各位の普段からの努力の賜物です。今期もKYミーティングの実施、ヘルメットの着用の徹底、及び各事業所内の危険個所の改善を行い、労災事故ゼロ期間の継続を目指します。「ご安全に！」

<広島市中小企業会館>

新年度に入り4月前半には展示館では全館利用の大型催事が2件開催されました。4月の売上高は増加傾向で、前期を上回る見込みです。新型コロナウイルス感染者増の影響により、すでにキャンセルになったイベントもあり、先行きは依然として不透明感が漂いますが、職員一同気持ちも新たに取り組んでまいります。

<広島市留学生会館>（国際交流・国際協力の拠点）

今年4月から指定管理者として第3期の9年目をスタートしました。また、今期より事業所の組織体制も佐藤重光新館長の就任により、留学生会館の設置目的である“居住する留学生の生活支援をするとともに、留学生相互の交流、留学生と市民の交流等多様な国際交流及び国際協力”の更なる推進に向けて努めてまいります。

<FM事業部>



令和4年度がスタートしましたが、昨年度は廿日市野村病院や北部医療センター安佐市民病院附属棟の新規業務を受注するなど嬉しいニュースがありました。逆に脚立・架台から転落するという労災事故の発生は残念であり、ヘルメット未着用という安全意識の低さについては、全事業所で改善して行かなければなりません。また、建物設備の個々に実施される各種作業については、予めその作業の実態に応じた作業方法を定め、これを作業前KYミーティング時に全従事者に周知・確認することが大切になります。職場内では、労働災害に至らないまでも、ヒヤリ・ハットの危険箇所は数多く存在しますので、全員で職場のリスクを低減する取り組みを行いましょう。

<東京支店>

狭く暗いゴミ庫でネズミと格闘しています。腰を伸ばすと頭がゴツンと頭上の鉄骨とぶつかります。ヘッドライト付きのヘルメットを被ってからはそういうことも無くなりました。中高年になると足腰も不如意となります。管理ビルの廊下の蛍光灯を、脚立を使って交換するときもヘルメットを着装し、必ず二人で支えながら実施しています。北青山SC・千歳敬心苑といった設備員非常駐の現場にもヘルメットを備え付けました。脚立等の高所作業、機械室、倉庫等では必ずヘルメットを着装し、基礎的事項の確行に努めましょう。



<安全衛生委員会>

4月に入り第58期が始まりました。昨年度は12件の労働災害が発生し、そのうち6件（階段からの転落事故3件、脚立からの転落事故2件、転倒事故1件）の転倒転落事故が発生しました。さらに、6件の事故のうち2件が休業を伴う重大事故となりました。転倒転落事故はビルメンテナンス業における事故の中でもっとも発生頻度が高く、4割を超える確率で発生しています。転倒転落をすれば骨折をするなどして、長期の休業を伴う重大事故となります。このような事故を今期こそ撲滅し、安全で安心な職場を築いていきたいと思えます。今年一年、安全活動にご協力ください。ご安全に！！



<磨種(ときぐさ)>

第57期を終え第58期が始まりました。昨年の4月には東京大学附属病院の診療棟清掃契約コンペで、4年ぶりに元のポジションに戻り咲くことができました。これは契約金額に見合ったオオケンの最適環境づくりの内容が、評価頂けたものと大変嬉しく思っています。コロナ禍に対応しながら結果を齎してくれたことは、クレンリネス事業に携わるオオケンのエッセンシャルワーカーを大いに鼓舞しました。

4年ぶりの東大病院診療棟復帰で鼓舞され続けた広島本社サイドは、広島市立北部医療センター安佐市民病院の新規契約コンペにおいても、オオケンの経営理念「最適環境づくり・人づくり・国づくり」の下で具体案を練り上げ、お陰様をもちまして業務をお引き受けすることができました。

年度末迄には病院長を筆頭に院内関係者と医療設備の移転・医療設備の搬入が始まり、5月1日開院に向けて様々な部署で着々と準備作業が始まっています。

我がオオケンの警備・清掃業務など関係者も、5SとABCの徹底実践を目標に掲げ、北部医療センター安佐市民病院の地域貢献へのお手伝い出来るよう、連日事前研修に余念がありません。エッセンシャルワーカーを標榜するオオケン各位の第58期の無事故・無災害・無病息災を祈念いたします。